



「えのきぞの」が、9月3日（月）を目処に移転（旧店舗は5月末で店仕舞い）し、開店に向けて動き出した。店主は榎園豊成氏。熊本県内では数少ない京料理の匠の一人であるが、たいへん温厚な方なので、県内外に多くのファンが根付いている。

移転先は、熊本市内の高級住宅街で知られる新屋敷。白川より分岐した大井手川が、新屋敷方面に向かって流れ込んでいる。ちなみに、この大井手川は加藤清正の治水事業として知られる井手で、昔は鰻が沢山捕れていたと或る人が呟いていたことを思い出す。

その大井手川に沿った細道は、ワンちゃんのお散歩コースとしても打って付け。閑静で恵まれたところに、名称改め「えのきぞの」（旧店舗名：日本料理 ENOKIZONO）として、開店することになる。魅力的な食事処として、個人的にも注目している次第。

◎「えのきぞの」（2018年8月13日情報）  
 〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1丁目9-19 濫觴77A（9月3日開店予定）  
 電話番号：096-211-5525（8月下旬開通予定）



えのきぞの

